



# 時習 2024 No. 9

嬉野市立嬉野小学校  
学校だより  
文責 中野 宗利  
令和6年10月21日

## ◎運動会の取組 本格的に!!

15日(火)から2学期がスタートしました。今学期のさらなる成長を目指して、「目標を立て、目標達成に向けての準備をしよう!まず何から始めるか考えよう。」と始業式で話しました。準備をしっかりできれば、自ずと目標は達成されると思います。お子様が目標達成に向けて継続して取り組めるよう、ご家族からの助言や励ましをお願いします。

また、27日(日)に運動会があります。子どもたちは、各学年の団体種目やリレーや綱引き、5・6年生リーダーを中心とした応援団活動に本格的に取り組んでいます。運動会スローガンである「この夏よりも熱くなれ」を合言葉に熱く盛り上がってくれることを期待しています。

## ◎体験活動・授業へのご協力に感謝しています。

### ★稲刈り

9月26日(木)に5年生が稲刈り体験をしました。子どもたちは、JA佐賀の森様のご指導の基、稲刈り鎌を手にもって最初はこわごわと、慣れたらスパッと刈っていました。その後は、足踏み脱穀機を使って脱穀しました。機械に引っ張られて、思わず手を放してしまう子もいましたが、再挑戦して頑張っていました。いろいろな経験ができた稲刈りでした。

※10月18日(金)に5年1組が、早速調理実習で新米を炊き味わいました。とても美味しかったです!



### ★面浮立指導

10月3日(木)に嬉野市の文化事業の一環で、3年生を対象に温泉区伝統芸能保存会の皆様が面浮立の歴史や踊り手、楽器の紹介などをしてくださいました。そして、子どもたちは面や衣装を試着したり、太鼓などに触らせていただいたりしました。運動会で面浮立を披露する子どもたちにとって、貴重な体験になりました。



### ★ミシンサポーター

6年生家庭科の「ナップザック作り」の支援に地域コミュニティのご協力で、4日間でのべ39名の方がミシンサポーターとしてご協力くださいました。子どもたちが分からない時には、しつけの仕方やミシンの使い方などを個別に教えていただきました。おかげさまで、誰一人取り残さず、完成できそうです。ありがとうございました。



## ◎平和について考えました！

9月11日(水)にオンラインで平和集会を行いました。担当の菅崎先生から日本での戦争のこと、今も続いている世界での紛争などについて説明があった後、6年生がグループごとに長崎への修学旅行で学んだこと・考えたこと・感じたことを発表してくれました。下級生の子どもたちの心にも届いたことが感想のコメントに表れていました。先日、ノーベル平和賞が「日本原水爆被害者団体協議会」に贈られることが発表されましたが、日本が最後の被爆国となるようみんなが平和への行動をできるように、今後も学ばせたいと考えています。



【カメラの前での発表】

## ◎夢の教室・アスリート派遣事業

9月12~13日に嬉野市の事業である「夢の教室」が5年生を対象に開催されました。夢先生として来校されたのは、東京オリンピックに競泳「個人メドレー」で出場された寺村美穂さん、サッカー元日本代表 山田隆裕さんです。お二人とも子どもたちと一緒に遊びながら軽い運動をした後、ご自身のケガなどの挫折を乗り越えながら頑張ってきたアスリートとしての経験をもとに夢について語っていただきました。寺村さんは、夢を持って努力を続けること、そして、仲間がいることの大切さを教えていただきました。子どもたちの心に残る話だったと思います。



また、9月20日には4年生を対象にアスリート派遣事業で、先日のパリオリンピックラグビーに嬉野市出身の堤ほのか選手と一緒に出場した中村千春選手が来校され、運動することの楽しさを体感させてくださいました。

## ◎佐賀新聞「わかもの」の欄に掲載されました！

今年度3人目の意見文が9月24日に、4人目が10月17日に佐賀新聞に掲載されました。掲載されたのは、5年生辻杏南さん「見られていなくても」、團彩葉さん「みんなに笑顔を」です。自分の思いをしっかりと表現できていて素晴らしいと思いました。ぜひお読みください。

別の商品のバーコードを使って、不正を行うことは、お店にも他のお客さんにもめいわくをかけることです。どんな理由があっても、「不正は絶対にダメ」だと思いました。

私一人から見られているかいないかで、行動が変わったことがありません。それは、親がいる時には、宿題をするけど、親がいなくなると、宿題をやらなかつたのです。でも、このニュースを読んで、こうかいするなら初めから正しいことをしていこうと思いました。

見られて

いなくても

嬉野小5年 辻杏南

わかもの

先日、セルフレジで不正精算があった記事を読みました。

私がいま思ったことは、「なぜ、容疑者はこんなことをしたのかな」ということです。この男の人は、生活が苦しかったのか、それとも、他に何かあったのかと考えました。

セルフレジはとても便利で、店員さんが不足していても、セルフレジがあることでお店側も助かると思います。また、お客さんも待つ時間が短くなって助かると思います。私も買い物に行った時には、セルフレジを利用していません。だから、不正をする人が増えたら、セルフレジがなくなってしまうかもしれないと考え、とても残念です。

みんなに笑顔を

嬉野小5年 團彩葉

SAGA  
2024

パリパラリンピックで、女子マラソンの部(視覚障がい)の道下美里選手が銅メダルを獲得したことに感動しました。

3大会連続でメダルを獲得したのは、周りの人たちの支えがあったからだろうと思います。伴走を務める方が道下選手のことを、「明るくて夢を語る人。協力したいと思わせる人」と表現していました。そして、道下選手の「絶対に勝ちたい」という強い気持ちがあったからこそ、この結果につながったのだと思います。

私は、今月行われる全国障がい者スポーツ大会のオープンニングで、ダンスをひろうることになっています。そのために、暑い中でも毎日練習を続けています。第1回の全障スポを、盛り上げたいという思いが、選手みなさんに届くようにがんばります。そして道下さんのように、みんなが笑顔になれる大会になるといいなと思います。

